

財産名称	下原住宅	担当課	藤原行政センター	普通財産
所在地	日光市鬼怒川温泉大原2番地	根拠法令		

土地情報

敷地面積 (m ²)	2,981m ²	所有	市有地	その他
------------------------	---------------------	----	-----	-----

利用目的

市営住宅

財産の現状

現状: 入居者なし(令和3年9月入居者全員退去)。

財産経過等

大規模改修、修繕の履歴は平成29年度から募集停止の為なし。現在はA型バリケード設置し、敷地内侵入禁止としている。

No.	該当財産名称	主構造	階層	建築年度	耐用年数	耐震	延床面積 (m ²)
1	1号棟 (5戸)	RC造	2	1979	47	無	329.95
2	2号棟 (4戸)	RC造	2	1979	47	無	263.96
3	3号棟 (6戸)	RC造	2	1979	47	無	332.82
4	4号棟 (5戸)	RC造	2	1979	47	無	277.35
5							

延床面積 総計 (m²) 1,204.08

位置図

写真等

利活用方針

1 資産利活用の方向性	財産処分 (財産処分(売却)を視野に入れ、隣接する下原保育園跡地も含めて土地の整理を実施する。)
2 当該方向性の理由	建物の築年数など老朽化が進んだ状態であり、速やかに解体が望ましいが、解体時期については国庫補助の関係から調整を要する。 また、更地にした後の土地については、売却対象財産として公表することが望ましいが、売却には土地の整理が必要。
3 資産活用の具体的手法	普通財産として、現所管課において適正な維持管理を行う。耐用年数終了後、更地化し、財産処分(売却)を視野に入れ、隣接する下原保育園跡地も含めて土地の整理を実施する。
4 具体的対応スケジュール	現所管課及び財政課等と調整
5 資産利活用に関する経費等見込み	建物解体費用(見込) (RC造、延床約1,204m ²) 32千円/m ² × 1,204m ² = 38,528千円
6 その他利活用に関し必要な事項	施設解体後は太陽光発電施設設置箇所としても可能性を検討する。